

2014年11月3日(月)19:30~

『ベオグラード日誌』(書肆山田刊)を語り合う

山崎 佳代子×管 啓次郎

(著者・詩人) (詩人・比較文学者)

日本からバルカン半島へ移り住み、35年が過ぎました。『ベオグラード日誌』は、セルビアの首都ベオグラード生れ、2001年から2012年までの小さな出来事の記録です。犬、猫、植物、料理、子育て、市場、友達、旅、詩人や画家の仲間と過ごす生活には、旧ユーゴスラビア解体、内戦、難民、NATOによる空爆、劣化ウラン弾の犠牲者、隣人の第二次世界大戦の記憶が重なります。セルビアの現代詩を、祈りの言葉のように挟みました。書物の終わりは東北沖大震災…。日本とセルビアを往復しつつ、地球の鼓動をベオグラードで綴りました。表紙の写真は、陽ざしがそそぐベオグラード旧国際見本市会場跡。第二次世界大戦中は、ナチス・ドイツの占領下の強制収容所でした。

お話のお相手は、旅の詩人で翻訳家、異文化の対話を考える比較文学者、エッセイや映像技術まで幅広い活動を展開する管啓次郎さんにお願しました。

【講師紹介】

山崎佳代子 (やまさきかよこ)

1956年生れ。ベオグラード在住。詩集に『みをはやみ』『アトス、しずかな旅人』(書肆山田) 翻訳書にダニロ・キシユ『若き日の哀しみ』(東京創元社) 『庭、灰』(河出書房世界文学全集) など。著書に『そこから青い闇がささやき』(河出書房新社) など。国際詩人モラバ賞受賞。

管啓次郎 (すがけいじろう)

1958年生れ。明治大学理工学部教授。詩集に『Agend' Ars』四部作(左右社) 翻訳書に、仏語からコンデ『生命の樹』英語からコノヴァー『コヨーテたち』スペイン語からアジェンデ『パウラ』など。著書に『斜線の旅』(インスプリクト・読売文学賞受賞) 『ストレンジオグラフィ』(左右社) など。

☆会場…4階喫茶コーナーにて。入場料1,000円(ドリンク付き)。定員40名。

☆受付…事前のご予約が必要です。1階サービスコーナーもしくは電話にてご予約承ります。

☆トークセッション当日の開場は、開演時間の30分前からとなっております。

ジュンク堂書店 池袋本店

TEL: 03-5956-6111 FAX: 03-5956-6100